

# 第1回PPP／PFI推進に係る 実務者向けセミナー

## 地域インフラ群再生戦略マネジメント

### 宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における 橋梁の包括的民間委託



令和8年7月7日（火）

奈良県宇陀市建設部

建設課主幹 森川 浩然

建設課主査 花本 達哉

宇陀市は令和8年1月1日で合併20周年です。

# 宇陀市の概要 (宇陀市ってどんなところ?)

## 宇陀市の位置

平成18.1.1 3町1村が合併「宇陀市」誕生

人口 25,793人

世帯数 12,534世帯

面積 247.5km<sup>2</sup>

(令和8年6月末現在)



宇陀市



# 宇陀市の概要（宇陀市ってどんなところ？）

## 宇陀市の地形

緑豊かな高原都市



## 宇陀市の芸術

公共事業とアートの融合



室生山上公園芸術の森

## 宇陀市の歴史

城下町の風情が今なお残る

大宇陀松山 重要伝統的建造物群保存地区



## 宇陀市の自然

四季折々の豊かな風景



大和富士



兵庫村 (本郷の御村)

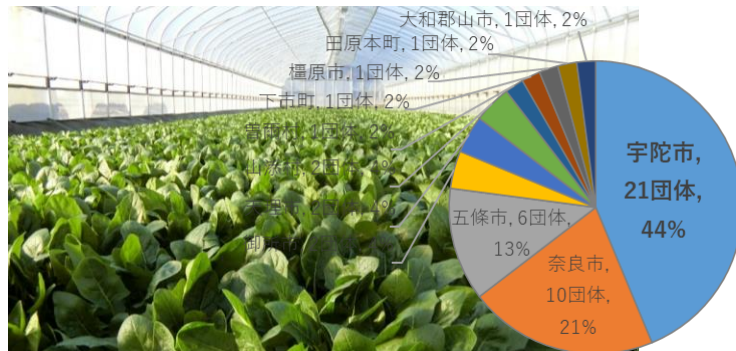
カエデの森(いろは)

藤王ヶ原

## 宇陀市の特徴的な取組み

全国に先駆け、「オーガニックビレッジ宣言」を実施

奈良県内の有機農業者の状況



## 宇陀市の特徴的な取組み

エストニアとの連携

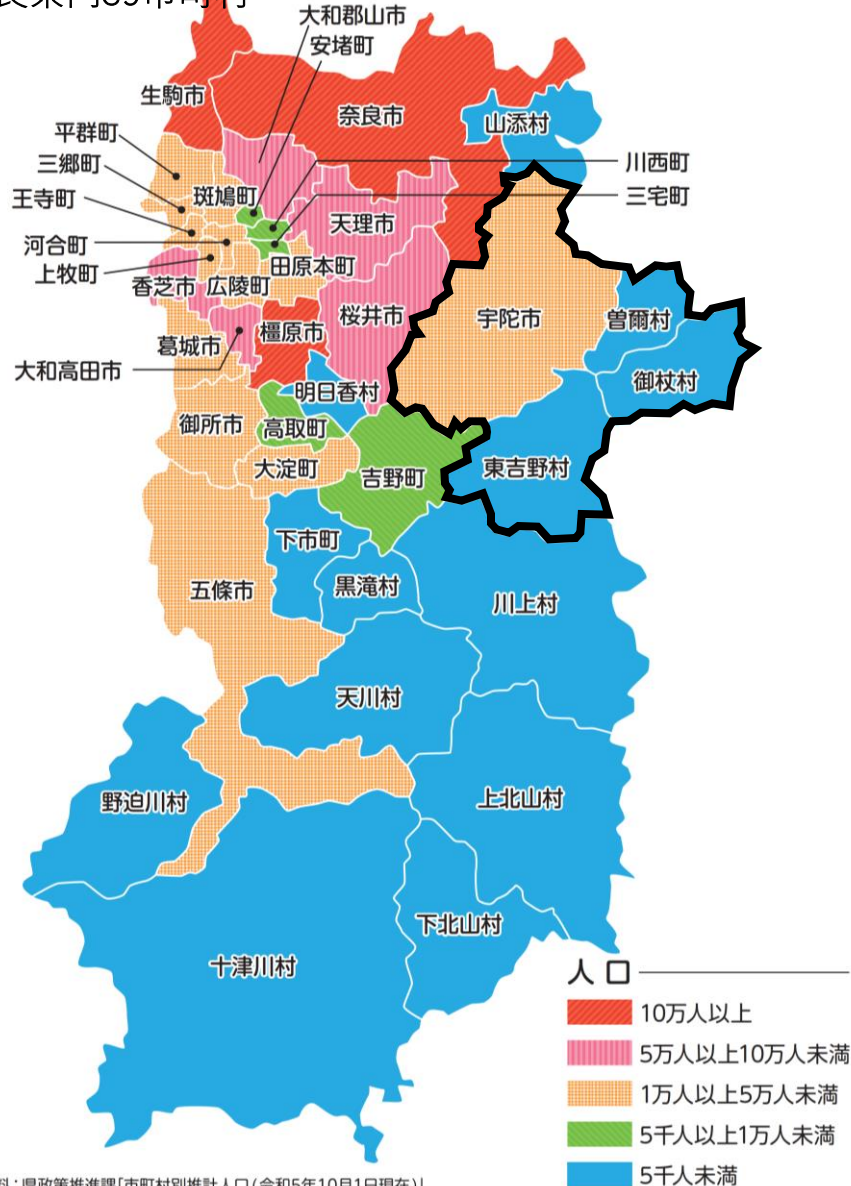
アントレプレナーシップの育成を軸に過疎地域の課題を解決する先進都市



エストニア サーレマー市との教育分野を柱とした連携・交流のMOUを締結  
Clevon Academy・Clevon誘致に関するMOUを締結

# 群マネ取組の理由について

奈良県内39市町村



## 群マネモデル地域に公募

- ・宇陀市長金剛一智の**トップダウン**！
- ・**橋梁メンテナンス**を改善したい！  
50橋ものⅢ判定が有り修繕を早急に実施するのが喫緊の課題
- ・現状のままではメンテナンスが進まない。でも新しい事業を始める勇気もない。そこで**トップダウン**でしようとなった**群マネをいい機会**にと。
- ・公園や農林等内部調整を実施（連携体制組めず）
- ・奈良県土木事務所管内が同じで他事業（観光等）でも親交がある曾爾村、御杖村、東吉野村に「**橋梁を一緒にやりませんか？**」と声をかける。また県下の水平連携であること、奈良モデルがあることなどの理由でオブザーバーとして奈良県に参加していただく結果、**曾爾村、御杖村、東吉野村、奈良県**と連携が決まる。
- ・**宇陀市の課題**はメンテナンスを進めたい。**連携地域の課題**は、技術系職員がいない問題に対応したい。**全体の課題**として、将来に渡る橋梁の維持管理の適切な継続、これらの課題をメインに考えて連携をスタートさせる。

資料：県政策推進課「市町村別推計人口(令和5年10月1日現在)」

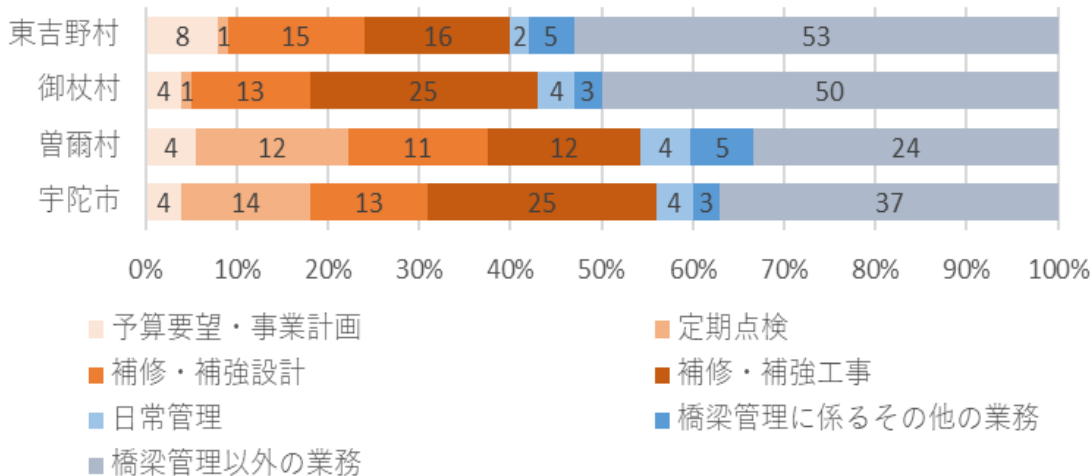
# 宇陀地域の概要

## 連携する地域について

	宇陀市	曾爾村	御杖村	東吉野村
人口(人)	26,226	1,270	1,347	1,498
面積 (km <sup>2</sup> )	247.5	47.8	79.6	131.7
橋梁数	532	89	234	156
土木職員数	18	0	0	1
橋梁担当	1	1	1	1

出典 総務省 住民基本台帳に基づく人口（令和7年）  
国土交通省 国土地理院 全国都道府県市町村別面積調  
全国道路施設点検データベース

橋梁担当職員の年間の業務配分



※令和6年度調査

宇陀地域の風景



・宇陀地域合わせて 1011橋  
・宇陀市の管理橋梁数は奈良県内、市町村で2番目に多い

・各市村において橋梁の担当者は1人  
しかし、業務の4割は橋梁管理以外の業務を行っている。

## 連携地域の特徴

- ・奈良県土木事務所管内（宇陀土木事務所）の連携
- ・中山間であり気候や地域性が似ている
- ・市町村の規模的にも宇陀市がリーダー
- ・土木職員数が少なく、橋梁を担当している者はどの市村も1名（専任ではなく幅広い業務を兼務している）
- ・専門性を要する橋梁管理には技術も経験も人手も足りていない
- ・奈良県には**技術サポートセンターがなく点検を一括で行う機関はない**。そのため、連携市村でも奈良モデルを活用していたり各市村で実施していたりする。その為、**橋梁点検にかかる負担も大きい**。

# 宇陀地域の橋梁管理における課題

段階	生じている課題
橋梁点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年100橋程の点検を実施するがまとまりがなく対象橋梁の整理に苦慮している。</li> <li>・ 点検方法がわからない。</li> <li>・ 点検結果において対策の緊急性の判断が難しい。</li> <li>・ 積算の負担が大きい。</li> </ul>
計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長寿命化修繕計画の優先順位を参考としているが、計画通りには進捗せず乖離が大きい。</li> </ul>
補修設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策工法や施工計画の妥当性がわからない。</li> <li>・ 一貫した判断基準がないため、各年度の成果によってバラつきが多い。</li> <li>・ 業務の仕様が設定できない。</li> <li>・ 積算の負担が大きい。</li> </ul>
補修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CADを使える職員がいない。</li> <li>・ 技術的な判断を要する場面で判断ができない。そのため、設計者へ問い合わせが必要となり、工程に影響、またつかまらない場合もあり時間がかかる。</li> <li>・ 積算の負担が大きい</li> <li>・ 毎年2橋程補修を進めているが、未対策のⅢ判定橋梁が50橋以上（宇陀市）メンテナンス加速が必要。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去の点検データを管理できていない。</li> <li>・ 補助要件・様式等頻繁に変更となるため把握しきれない。</li> <li>・ 規制や通行止めにかかる調整や住民との合意形成が難航</li> <li>・ 技術系の職員がいない、知識を持った職員がいても継承方法がわからない。</li> </ul>

●各市村全員の細かい課題の洗い出しを実施した。それを解決することで全員にメリットが生じる事業スキームとすることが大事



# 宇陀地域の検討実施状況

## 宇陀地域の群マネ検討状況

### 【検討会】

令和5年12月	モデル地域選定
第1回検討会	(R6.1)
第2回検討会	(R6.6)
第3回検討会	(R6.7)
第4回検討会	(R6.10)
第5回検討会	(R7.1)
第6回検討会	(R7.3)
第7回検討会	(R7.8)
第8回検討会	(R7.10)

### 【検討会内容】

宇陀地域キックオフ会議  
 進め方・現状の整理・現状の課題・取組の方向性  
 事業スキーム  
 国交省計画・実施手法検討会委員と首長合同会議  
 課題の再整理と令和7年度試行業務検討  
 令和7年度試行業務検討  
 進め方・事業スキーム・市場調査ヒアリング  
 令和8年度事業費

検討会参加者：宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村、奈良県、  
 パシフィックコンサルタンツ(支援業者)  
 ●検討会の最後に次回の検討会の予定や内容について協議すること、また宇陀市が代表市となり議論の第一案を提案することにより、継続的な検討会の開催と議論が進展していくことに注意し検討会を進めた。  
 また、第三者として奈良県が参加してたため議論を進展することができた。

### 【その他】

R7.9 建設業協会説明会  
 R7.10 市場調査

国交省計画・実施手法検討会委員と首長合同会議



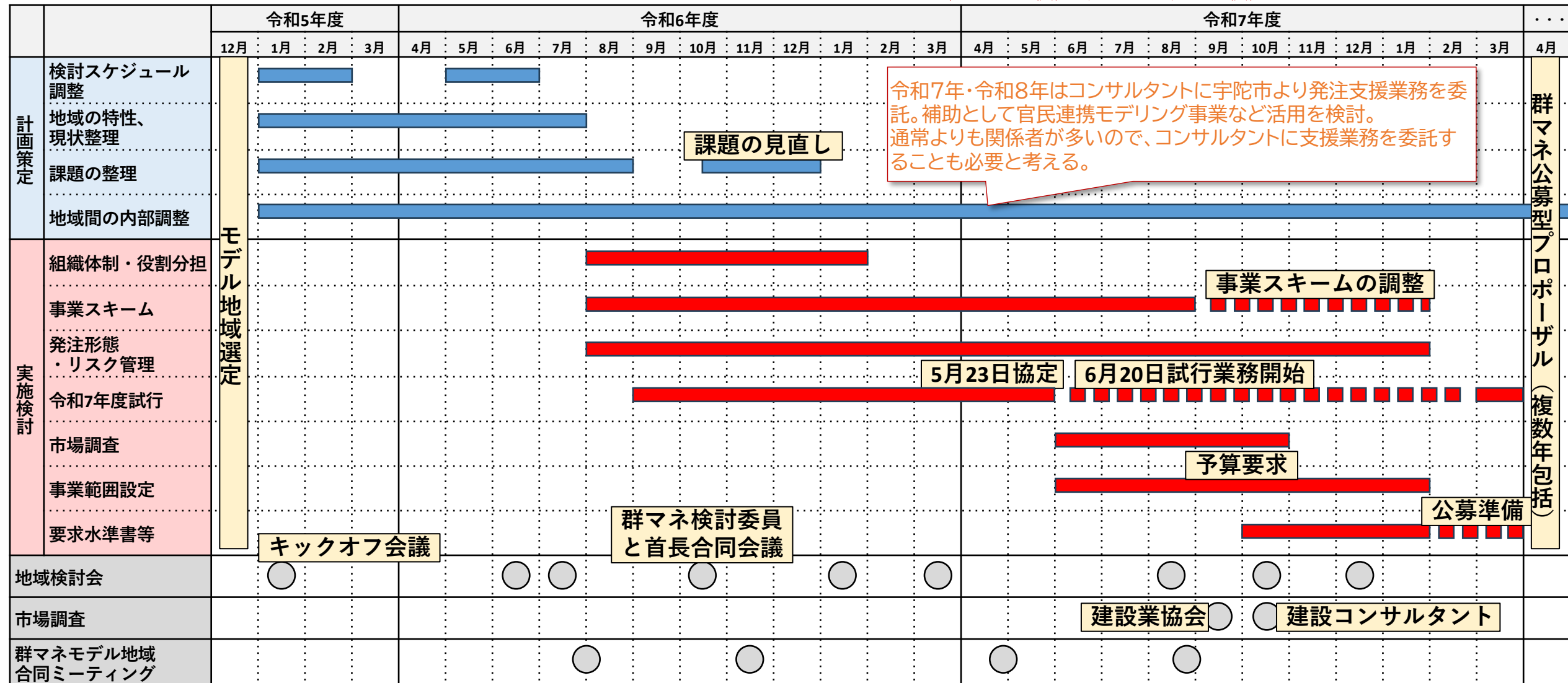
検討会実施状況



# 宇陀地域の検討実施状況

## 全体スケジュール

※国土交通省実施の検討会に沿って色分け  
 群マネ計画検討会：群マネの基本的な考え方や方向性の検討  
 群マネ実施検討会：実施に関する検討

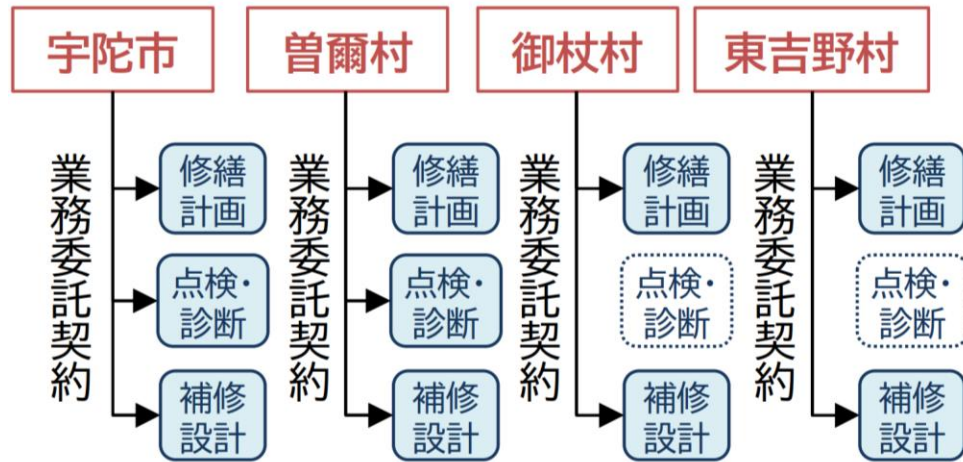


# 宇陀地域の事業スキームについて

## 従来手法

### 業務発注

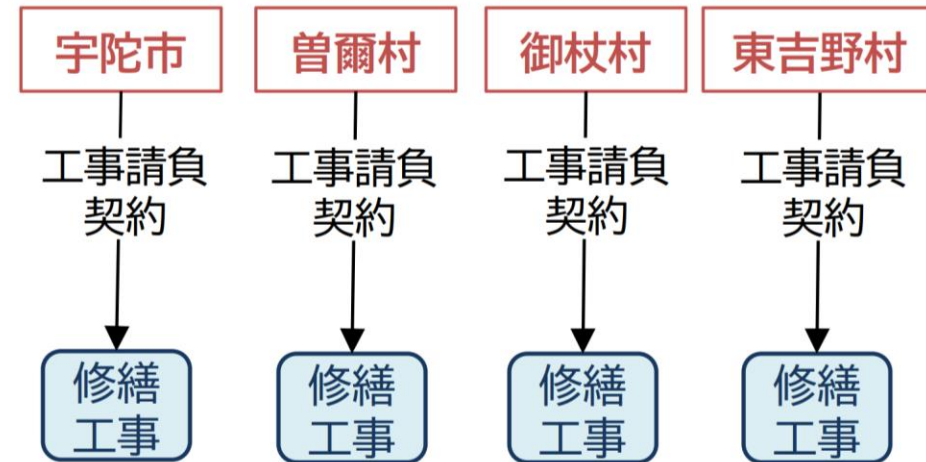
業務・自治体ごとに個別発注



※ 御杖村・東吉野村は点検を奈良県に委託

### 工事発注

工事・自治体ごとに個別発注



- 従来は各市村で別々にメンテナンスにおける業務や工事を発注している。
- 御杖村や東吉野村は奈良モデルを活用し、県に点検を委託していたが宇陀域内での業務連携はない

# 宇陀地域の事業スキームについて

奈良モデルについて（群マネの手引きVer.1 P11）

## 市町村の技術者不足を県が補完する先駆的モデル

### ■ 奈良県(奈良モデル) 「自治体」の束

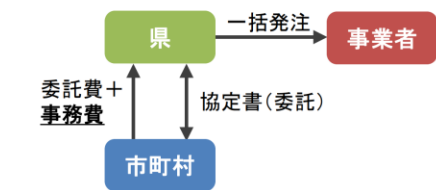


✓ 課題・取組のきっかけ：  
市町村合併が進まず、規模が小さい市町村が多く存在する中、県と市町村、あるいは市町村同士の連携・協働を図った。

✓ 人口：約132万人  
✓ 技術者数：39市町村のうち、10町村で0人(R6.4.1)

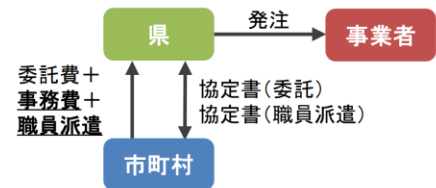
✓ 対象業務：  
橋梁やトンネルの点検、長寿命化計画策定、補修設計、修繕工事

#### 【垂直連携(点検、計画策定)】



- ① 県と市町村が協定書を締結。
- ② 市町村は県へ委託費+事務費を負担。
- ③ 県が、県と複数市町村の業務をとりまとめて一括発注。
- ④ 県と市町村が立ち会いの上、成果物を確認。

#### 【垂直連携(補修設計、修繕工事)】



- 上記に加え、
- ① 県と市町村が協定書を締結。
  - ② 市町村が県へ職員派遣(併任辞令)。
  - ③ 派遣職員は県職員のサポートを受けながら、自分の市町村が県に委託した業務に従事。

※積算：週2～4日(2か月程度)、業務・工事中：週1～2日程度(完了まで)

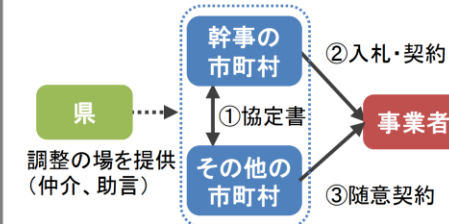
効果

・技術系職員が不足する中、県内全体のインフラ長寿命化を促進。  
※実績(H22～R6年度)⇒ 橋梁点検:27市町村、トンネル点検:11市町村、計画策定:34市町村  
※実績(H25～R6年度)⇒ 補修設計:5市町村、修繕工事:6町村  
・派遣職員が技術的なノウハウを習得することで、各市町村の技術力が向上。

運用のポイント

・業務や工事の履行は発注者である県が責任を持つ。  
・橋梁の判定区分は、最終的に市町村が決定。  
・派遣職員に責任を付与するものではない。

#### 【水平連携(点検、計画策定)】



- ① 市町村同士で入札事務に関する協定書を締結。
  - ② 幹事自治体が各市町村の設計書をまとめて入札。
  - ③ その他の市町村は同一の業者へ随意契約。
- ※年度毎に入札事務を持ち回りとする事で、市町村間での事務費の授受は生じない。

効果

・幹事を持ち回りとする事で、市町村同士で共通する発注事務を省力化。  
※実績(H27～R6年度)⇒ 橋梁点検:6市町(3グループ)、トンネル点検:3市町村(1グループ)、計画策定:2市(1グループ)

運用のポイント

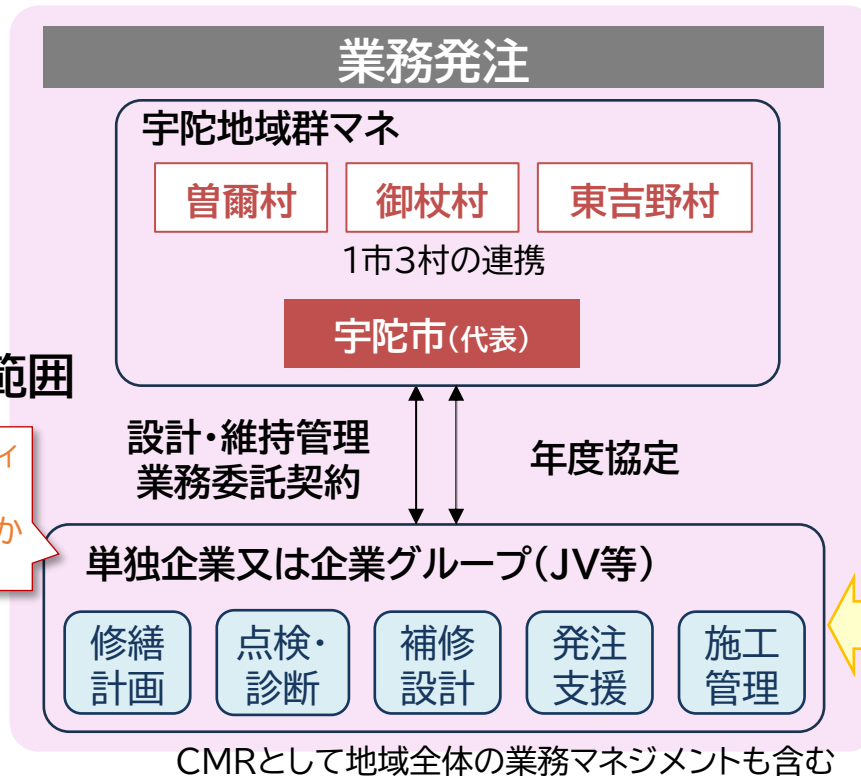
・県は調整の場を提供する役割。

# 宇陀地域の事業スキームについて

## 事業スキーム (宇陀モデル)

### 事業範囲

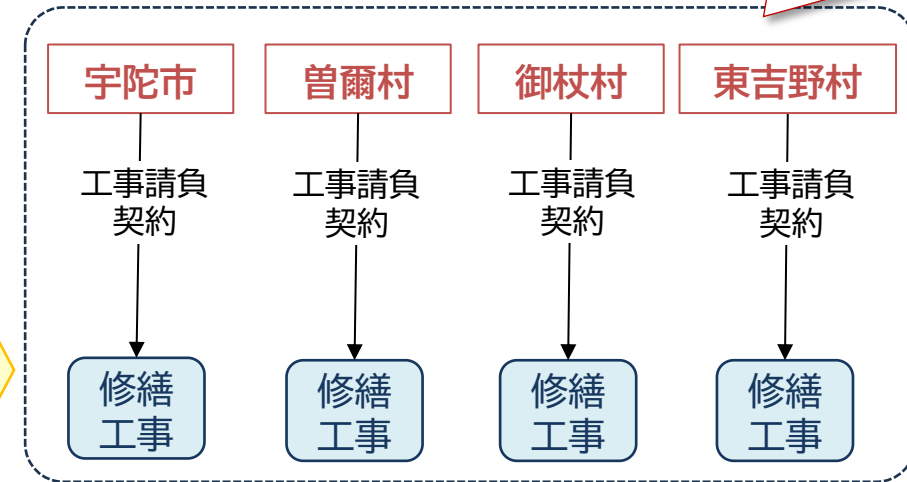
●建設コンサルタントサウンディング(市場調査・ヒアリング)  
各市村の指名競争入札の実績から10社ほど選定



## 工事発注

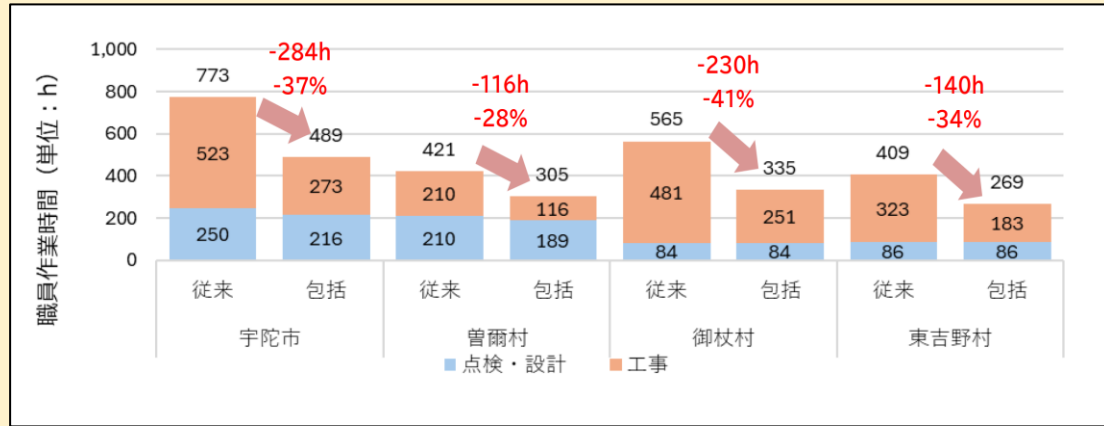
工事・自治体ごとに個別発注  
(従来通り)

●宇陀建設業協会サウンディング  
(市場調査・ヒアリング)  
(宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村)



- 1市3村が連携して橋梁維持管理業務委託をまとめて発注することにより、業務の効率化と技術の相互補完、維持管理の連続性向上による効果的なメンテナンスの促進を図る。
- 自治体の壁を超える事業連携のため、事業者はCMRとして地域全体の業務マネジメントを行う。
- コンサルタント事業者側においてもメンテナンスサイクルを理解できる良い勉強のフィールドにできる。(市場調査)
- 工事は各自、地元業者に発注し、実績や経験を積んでもらう(市場調査)
- 全体に及ぶ基本的な事務・総括は宇陀市が代表市として実施を行い、各事業については各市町村が主体的に実施する。そのため情報共有のシステム等を活用し、円滑に連絡体制を整える。

# 想定するメリットについて

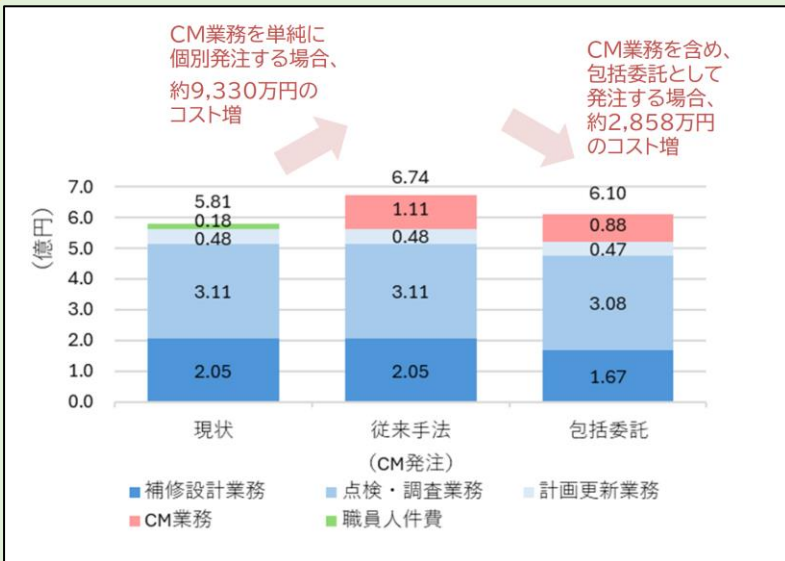


※R7,10導入試算資料

## 【事業導入による職員負担の軽減効果】

事業を実現することで、いずれの市村においても事業中の業務・工事に係る負担が減少し、職員負担の軽減に繋がる。

負担の軽減により、本事業メンテナンスの加速・他事業の取組などが可能になる。



※R7,10導入試算資料

## 【事業導入に必要なコスト】

### 業務・自治体の連携によるスケールメリット

現状と比べて、CM費用が生じることにより、包括による効率化を想定してもややコスト増とはなるものの、その影響は通常通り個別発注をする場合と比較し、3割程度まで低減が可能。

※宇陀モデルでは発注者支援や工事監理、CM業務の追加を行っているため全体コストは増である。

# 想定するメリットについて

## 【道路メンテナンス事業補助の優先支援対象】

新技術の活用や地域インフラ群再生戦略マネジメントや包括的民間委託により実施される事業は優先支援対象で内示が優遇。

令和8年度内示 各市町村80%~100%

## 【代表市の事務費（宇陀モデル）】

群マネの取組により実施される事業は、広域的であり関係市町村が多い、そのため事業を円滑に実施するためには代表市としてとりまとめが必要になる。そこで代表市が行う事務に関して、費用負担を定めている。

## 【課題の解消と技術系職員不足問題に対応】

官民連携を行い、宇陀地域の各市村が持つ課題を解消し、橋梁メンテナンスの安定した継続と予防保全型に移行させる。

事業者と自治体職員の合同の勉強会や、自治体同士の技術の継承を行い互いにスキルアップを目指す。

## 【発注ロットの拡大と入札の好調化】

各市村の事業を統括して発注するため、発注ロットが格段に拡大され、入札の好調化に繋がる。

令和8年度公募型プロポーザル 応募10社以上

# 現在の取組状況（公募型プロポーザルについて）

「地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託」に係る公募型プロポーザル方式による提案募集について

重要なお知らせ  
2026年4月1日更新  
うだ健幸プラザからの大切なお知らせ

重要なお知らせの一覧  
重要なお知らせのRSS

このページを見ている人は  
こんなページも見えています

「地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託」公募型プロポーザルの実施について（お知らせ）（建設課）

入札情報公開システム（総務課）

地域インフラ群再生戦略マネジメントの取組（建設課）

都市計画（大和都市計画地区計画の決定）の告示について（まちづくり推進課）

入札情報（案件・結果）（総務課）

AI（人工知能）は  
こんなページをおすすめします

「地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託」公募型プロポーザルの実施について（お知らせ）

地域インフラ群再生戦略マネジメントの取組

令和8年度宇陀市企業誘致促進業務委託に係る公募型プロポーザル方式による提案募集について

令和7年度宇陀市企業誘致促進業務委託プロポーザルの選定結果について

宇陀市心の森「多世代交流プラザ」（大宇陀温泉あきののゆ）温浴業務及びレストラン

ページID：0023366    更新日：2026年4月21日更新

▶ ページ内目次

「地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託」に係る公募型プロポーザル方式による提案募集について



1. 公告

「地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託」の公募型プロポーザル方式による提案募集について公告しました。

公告文（PDFファイル：1.26MB）

地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託に係る公募型プロポーザル実施要領（PDFファイル：378KB）

## 【 宇陀地域の群マネテーマ 】

技術者不足を「**地域連携×橋梁包括PPP**」で解決  
（橋梁メンテナンスの効率化、技術補完の実現）

令和8年4月21日 公募型プロポーザル 公告開始

事業名：地域インフラ群再生戦略マネジメント宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における橋梁の包括的民間委託

事業費：652, 894, 000円（税込み）

期間：契約締結日～令和11年3月31日まで

事業内容：①共通業務 ②計画更新業務 ③橋梁定期点検業務  
④補修設計業務 ⑤発注者支援業務 ⑥施工監理業務

事業量：橋梁点検609橋 計画更新1011橋 補修設計25橋  
発注者支援・施工監理30橋

# 現在の取組状況（公募型プロポーザルについて）

## 【 日程 】

公募型プロポーザル日程

内容	日程
プロポーザル実施要領等の公表	令和8年4月21日（火曜日）
質問の受付締め切り	令和8年4月30日（木曜日） 17時まで
質問回答	令和8年5月15日（金曜日）
第1次審査書類の受付締め切り	令和8年5月22日（金曜日） 17時まで
第1次審査結果通知	令和8年5月29日（金曜日）
第2次審査書類の受付締め切り	令和8年6月12日（金曜日） 17時まで
受託候補者の選定結果通知	令和8年6月下旬
契約締結	令和8年7月上旬

質問数は合計91問

・第1次審査(書類審査)  
企業の実績、実施体制、管理技術者・業務責任者の業務経験より上位4社を選定。

・第2次審査(提案審査・ヒアリング)  
第1次審査で選定された上位4社において、一般事項に関する提案(体制・工程計画等)、特定テーマに対する提案、価格に関する提案を行い、それにとまなうヒアリングを実施し、最終1社を選定する。

優先交渉権者：「長大・天理技研設計共同体」に選定

契約手続き中  
完了次第、事業を開始する。

現在

# 今後の展望・その他

## 【 今後の展望 】

### ①事業の中で様々な取り組みの挑戦

- ・ 情報共有システムの実装
- ・ 新技術の様々な試行を行う
- ・ 1市3村共通の仕様手引きやマニュアルの作成
- ・ 事業者・発注者・施工業者との勉強会
- ・ 宇陀モデル群マネの手引きの作成

### ②橋梁以外の分野に拡大

- ・ 橋梁メンテナンス以外に道路附属物など分野の拡大を検討

国土交通省  
群マネ特設HPにて公開中

今までにないくらいわかりやすく面白い手引き(参考書)となっております(笑)  
ぜひ見てください。

「インフラ老朽化の脅威から、われらのまちを守るか？」

人手不足時代に東でたちむかう、  
新たなヒーロー大集合

# 群マネ 入門超百科

- 「群マネ」ってなんだ？
- 先行事例のひみつを大解剖
- 明日からつかえるQ&A付き

時間軸の東、プロセスの東  
事業者の東  
自治体の東  
データの東、学の東  
技術者の東

イラスト：国土交通省ウェブマガジン「Grasp」 豪傑なヒーロー

地域インフラ群再生戦略マネジメント  
「群マネの手引きVer.1」  
国土交通省 (2025年10月)

国土交通省：群マネ特設HP  
群マネの手引きVer.1

# 第1回PPP／PFI推進に係る 実務者向けセミナー

## 地域インフラ群再生戦略マネジメント

### 宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村における 橋梁の包括的民間委託



ご清聴ありがとうございました。



奈良県宇陀市建設部

建設課主幹	森川	浩然
建設課主査	花本	達哉

宇陀市は令和8年1月1日で合併20周年です。